

2009年(平成21年)5月22日 (金曜日)

磐平島地震で全壊した輪島市門前町走出の曹洞宗興禪寺が再建され、十二日、同寺で完成式が行われた。震災以来、石川県内外を托鉢に回った市堀住職等は「自分の生き方を問われ、充実した二年間だった。多くの人に支えられ、うれしきもったいなさが込み上げてきた」と感慨に浸った。

約五百年の歴史を誇る興禪寺は、二〇〇七(平成十九)年三月の地震で山門を壊した本堂、庫裏が全壊。市堀住職は同年六月から托鉢に回り、一万人近くに浄財を募った。ほかに金庫の約三千人からも支援金が寄せられた。完成した本堂は、以前の約三十坪から約八十坪と小さな坪だが、総工費約一億円で一年前から再建工事が進められ、完成にこぎつけた。式には、檀家ら約五十人が参列。總持寺祖院の僧侶が般若心経を唱える中、市堀住職が本堂の完成を歴代の住職らに報

地震で全壊 門前・興禪寺

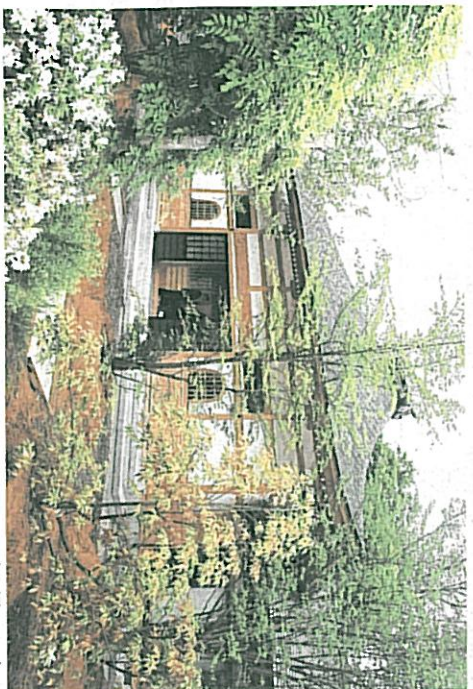


完成式であいさつする市堀住職
十二日午前10時10分、輪島市門前町走出

充実した2年 再建に感慨

住職、県内外で托鉢

告。式の後、市堀住職に宗派を超えて精進を振る舞った。が「寺は少しでも仏の力を高めて行こう」といふためである。山下良濱(高野山真言宗)の心をお大事にして寺に来迎寺名譽住職も出た。真宗大谷派の僧侶といくつまで参列者NPO法人「スキュー」は静かに手を合わせてストラックアウト(名古屋)のメンバーも駆けつけた。この日は、昨年六月に付、参列者に豚汁雄さんが育てたニシキコイを泳がせる池の整備も予定され、十月に落慶法要が行われる。神戸から足湯ボランティアも訪れる計画だったが、新型コロナウイルスの影響で中止になった。



完成した興禪寺＝22日午前11時